

令和6年 第5回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和6年5月9日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

教 育 長 榊原 寛二

教育長職務代理者 堤田 綾子

委 員 小藤 省吾

委 員 浅野俊太郎

委 員 鋤柄佐千子

出席職員の氏名

教 育 部 長 近藤 昭子

生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長 横田 寛

歴史民俗資料館長 山下 恵広

生涯学習スポーツ課課長補佐 神谷 芳美

給食センター所長 青木 隆

学校教育指導主事 神谷 俊輔

学 校 教 育 課 長 森田 光一

町民会館事務長 長谷川貴彦

生涯学習スポーツ課課長補佐 栗田 宗広

町民会館事務長補佐 森田 明男

学校教育課課長補佐 小坂井絵美

学校教育指導主事 小田島 健

：欠席者

1. 開会 午前9時30分

2. 開会宣言並びに第4回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第5回定例会の開会を宣言します。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくをお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

- 4月11日(木) ・ 定例教育委員会
- 4月13日(土) ・ 少年少女発明クラブ 開校式
- 4月17日(水) ・ 定例校長教委管理職会議
- 4月20日(土) ・ モデルロケット打ち上げ大会「大空杯」
- 4月23日(火) ・ 保育園訪問
- 4月24日(水) ・ 町学校運営研究会(教頭会議)
- ・ 町交通少年団任命式兼春の交通安全キャンペーン
※春の交通安全キャンペーンは雨天のため中止
- 4月27日(土) ・ 壱町田湿地小中学生ボランティア 開校式

- 4月30日(火) ・オーストラリア派遣事業 第1回実施委員会 ※引率教員5名
土井 香代(団長:衣浦小校長) 新美 諒(武豊小教諭)
山田 繁範(武豊中教諭) 葛谷美古都(武豊中教諭)
竹内 啓子(富貴中教諭)
- 5月 1日(水) ・町教育課程研究会(教務主任会議)
- 5月 9日(木) ・定例教育委員会

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

(教育長) 議案第12号「令和6年度 武豊町社会教育委員の委嘱(案)」について、事務局より説明をお願いします。

議案第12号「令和6年度 武豊町社会教育委員の委嘱(案)」について

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料1の説明

令和5年4月から2年の任期で委嘱した委員の内、町 PTA 連絡協議会長や区長等充て職でお願いをされていて今年度担当が変わった方へ、残りの1年間の任期分を委嘱する。

(教育長) この件で、ご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第12号について、原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは、議案第13号「専決処分の承認を求めること(案)」について、事務局の説明をお願いします。

議案第13号「専決処分の承認を求めること(案)」について

(歴史民俗資料館長) 配付資料の説明

地方自治法第179条第1項の規定に基づき、令和6年度武豊町の一般会計補正予算を先決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものである。理由としては、4月14日に長尾部で行われた祭礼で、運航中に破損した町の文化財である山車を、本年度10月に開催するふれあい山車まつりまでに修復をする費用に対して補助金を行うためである。

(教育長) 今の件で、ご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第13号について、原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは、議案第14号「6月定例会補正予算(案)」について、事務局の説明をお願いします。

議案第14号「6月定例会補正予算(案)」について

(学校教育課 課長補佐) 資料2-①の説明

補正理由について、歳入予算は、愛知県の「ラーケーションの日」モデル事業としての委託料である。歳出予算は、個別対応を必要とする生徒1名に対して特別支援員を配置するためである。

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料2-②の説明

補正理由は、地区公民館の補助金要綱を改定し、外構設備の新設及び修繕についても補助対象としたことから、市原公民館駐車場の整備申請が出されたことによる。

(教育長) 今の件で、ご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第14号について、原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議事を終了し、進行を教育部長にお願いします。

5. 報告事項

(教育部長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 令和6年度 令和6年度 学校配当予算について

(学校教育課 課長補佐) 資料3の説明

- ・学校配当予算に関する説明会を、4月17日(月)にオンライン開催にて実施。
- ・消耗品費 児童生徒数に応じて金額が減少しているものがほとんどだが、一部の教材で単価が上昇したことにより、総額としては増加となっている。
- ・教育振興事業費 教職員が使う PC のセキュリティー認証キーを予算措置
- ・工事需用費 各校にてトイレ改修工事・屋内運動場照明改修工事・遊具更新工事等を予定

(2) 愛知を食べる学校給食の日について

(給食センター所長) 資料4について説明

- ・6月19日は県内一斉で愛知を食べる学校給食の日として、地元で取れた食材を多く取り入れた給食を実施

(3) 公民館まつりについて

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料5の説明

- ・5月18日(土)・19日(日) 第47回公民館祭りを開催

(4) 令和6年度 福寿大学 学習予定表について

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料6の説明 令和5年度実績について

- ・5月から11月まで 6回を予定

(5) 武豊町制70周年記念事業 スポ GOMI 大会 in 武豊について

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料7の説明

- ・令和6年7月28日(日)に開催 1組3~5名 9:30~受付 (制限時間 90分)
- ・武豊中央公園から半径2km圏のゴミを拾い、競いながら社会貢献活動を実施する。

(6) 武豊町における生徒指導上の諸問題調査について

(指導主事) 資料8の説明

- ・令和5年度の武豊町内小中学校における、暴力行為、いじめ、不登校の状況や対策を報告。不登校児童生徒、いじめ問題、暴力行為等について、SC や SSW、教育支援センターと連携をしながら対応していく。
- ・いじめ重大事態に関する報告

(7) 学校の近況について

(指導主事) 資料の説明 各校の様子や新体制等について、宿泊行事等について

- ・海外派遣(オーストラリア)事業 5年ぶりの実施に向けて募集開始

(8) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料9について説明(5月~8月)

6. その他

(1) 町民会館より

- ・各種事業について資料当日配付

(2) 生涯学習スポーツ課より

- ・三井家展について

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 新年度が始まり 1 か月、ゴールデンウィークも終わり、子どもたちは新年度の生活に慣れてきた頃かと思います。その反面少し疲れも出てくる時期ではないでしょうか。子どもたちだけでなく、先生方も同じでしょう。特に新しく環境が変わった人にとっては、疲れを大きく感じているでしょうから、これから夏に向けて、周囲の人が慎重に見守ってあげられるとよいと思います。
- ・ 本日報告がありました、オーストラリア派遣事業の再開は、多くの子どもたちが興味をもっていると感じます。コロナ禍で行えなかった事業ですが、子どもたちは小学校の内から英語の授業を受けており、少しずつ外国に対する壁のようなものがなくなって、視野も広がっているのではないのでしょうか。中学生全学年を対象とした募集に、既に町内で 50 名以上が応募しているということを知り、子どもたちがやりたいことにチャレンジできる環境が用意されたことに感謝しています。今後の武豊町の子どもたちの成長に役立つ事業となることを期待しています。
- ・ 不登校児童生徒について、学校に登校できない子だけではなく、学校には登校できるけど教室に入ることができない子や、学校には登校できないが町教育支援センター（ステップ）へは登校できる子など、様々な子どもが居ると思います。同様に、毎日休むわけではないが、断続的に週に何回か休む子もいるでしょう。全欠不登校の子だけでなく、そういった表面上はわかりにくい悩みを抱える子との関わりを、先生方には大切にしていきたいです。これからの時期は、宿泊行事やプール授業等、子どもたちが楽しみにしている活動がたくさんあります。そういったきっかけを上手にとらえて、学校や教室に入れる子が増えるとうよいと思います。

(教育委員)

- ・ とある雑誌に掲載されていた言葉を紹介します。それは「子どもは大人の笑顔が見たい」という言葉です。その大人というのは、身近な学校の先生であったり、両親であったりするかと思います。雑誌にこの言葉を寄稿した方にとっては、笑顔の見たい大人は父親であったとのこと。その方の父親は、昭和一桁生まれの厳格な性格で、家では笑った顔を見たことがなかったが、テレビで落語を見ている時だけは笑っていたそうです。そしてその笑っている父を見ることができ、一緒に落語を見ている時が、一番好きな時間だった、だから大人になった自分は、笑っている姿を子どもに見せることができる仕事に就きたいと考えたのだ、ということが書かれていました。

- ・ この雑誌を読んで、頭に浮かんだのは、不登校の子どもの思いです。学校に行けない理由は各々違った理由があるでしょうが、どのようなケースでも、登校できず子どもが家にいる家庭の親御さんの顔は、どうしても笑顔になり切れないのではないかと思います。そんな時、子どもは「自分が家から出ないことで親が笑顔になれないのだ。」と考えてしまうのではないのでしょうか。「学校に行けば、親が笑顔になるかもしれない。でも体が、心が動かない。」と、悩んでいるのではないかと想像します。不登校の子が増加している現状に対して、これ以上増やさない努力を皆が考え、取り組みを進めていく必要があるかと思えます。
- ・ テレビでは、退職代行サービスが流行していて、その仕事依頼がゴールデンウィーク明けに増加するというニュースが放送されていました。大人ですら心が後ろ向きになりがちなこの時期ですので、繊細な心をもつ子どもたちと日々向かい合う先生方には、より入念なケアをしていただければと思います。

(教育委員)

- ・ 昨日新聞を読んでいて、新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に引き下げられたのが令和5年5月8日であり、もう1年が過ぎたという記事が掲載されていて、少し驚きました。感染症が拡大している時期に、いろいろな事業が見直され、無駄を省くようになり、効率的に業務が行われ、負担が減ったと感じられる場面が多くありました。それが、この1年で、コロナ禍前と同じように活動するように、戻されていることが多く見受けられ、少し残念に思っています。コロナ禍で見直しされた事業、そしてこの1年で実施された事業の活動内容をもとに、見直しに問題はなかったのか、または、見直しをしたことで新たな問題が発生したのか、検証する必要があるのではないかと感じています。
- ・ 一方で、レジャー、観光、遊びといった、様々コロナ禍で制限されていたことが自由に行えるようになったことをうれしく思います。町民会館20周年記念事業のイベントでは、子どもたちが全力で遊んでいる姿、それをニコニコしながら見ているご両親の姿など、親子で一緒に楽しんでいる姿が見られました。感染症の扱いが引き下げられたことで、こういった活動が自由にできるようになったのは、本当によいことです。子育てがしやすい町の評価項目に、建物・施設といったハード面や、行政の支援、特にお金の支援という2つが挙げられることが多いですが、それ以外にも一つ、「子育てしていて楽しい町」という要素があってもよいのではないのでしょうか。遠出をしなくても近場で、小さくなくてもよいのでいつでも、親子で笑顔が生まれるような様々なイベントが行われている町というのも、子育てをする世代には、大きな魅力のある町だと思います。
- ・ 武豊町全体としても、町制70周年記念事業を計画している所かと思えます。周年記念事業では、その時限りのイベントが行われることが多いかと思えますが、これをきっかけに、継続して取り組む事業があってもよいのではないのでしょうか。今回紹介のあったスポ GOMI 大会は、そういった面でもよい取組だと考えます。SDGs の理念にも合致しており、ゲーム性もあるので、学校の遠足等でやってみるのもよいでしょう。周年記念行事をきっかけに、武豊町のオリジナルの活動として、さらにアレンジをしていけるとよいのではないかと感じたので、提案させていただきます。

(教育委員)

- ・ 連休中に中学生時代の同窓生と集まる機会があり、様々お話をする中で、同年代の各地で活躍していた仲間が、武豊に戻ってきていることが分かりました。まだまだ元気で、自由な時間がある方が多いので、この定例教育委員会で案内されているイベントを紹介し、誘ってみました。町主催でいろいろなイベントが催されていることは、皆も知っているようでしたが、なかなか個人で参加することはハードルがあったようです。これからも、昔の仲間と共に、様々なイベントに参加できるように、次も誘っていきたいと思います。
- ・ 海外派遣事業で中学生がオーストラリアへ行くとのことで、先生方は引率が大変でしょうが、子どもたちにとってはとてもよい経験になると思います。私自身、学生時代にオーストラリアへ留学した経験がありますが、その際に最も役立ったのは語学ではなく、部活動で練習していたテニスでした。テニスをきっかけにコミュニケーションが取れ、仲間ができていった経験があります。子どもたちにも、新しいこと、慣れない環境を恐れずに一歩踏み込んで、様々な経験をしてきてほしいと思います。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日

署名

.....
.....
.....
.....
.....

作成者.....神谷俊輔